

すみよし

第 7 3 号

発行所 社会福祉法人 一 寿 会
 仙台市泉区住吉台西二丁目7番地6
 電 話 022-379-8030
 発行者 理 事 長 金 野 孝 彦

■住吉台こども園
 仙台市泉区住吉台西二丁目7番地6 TEL(022)379-0164
 ■仙萩苑 (障害者支援施設)
 仙台市泉区住吉台西二丁目7番地6 TEL(022)379-8030
 ■一寿園 (就労継続支援B型事業)
 仙台市太白区富田字南ノ西26番地 TEL(022)243-3447
 ■長命ヶ丘つくしこども園
 仙台市泉区長命ヶ丘三丁目20番10 TEL(022)772-0035
 ■名取みたぞのこども園
 名取市美田園五丁目3番地5 TEL(022)784-1020
 ■名取あけぼのこども園
 名取市増田六丁目1番40号 TEL(022)382-2711

印刷 令和8年7月15日
 発行 令和8年7月17日



■ 仙萩苑 (p8) ■ 一寿会 決算報告書 (p9)

■ 住吉台こども園 (p2～p3)

- ・お別れ遠足
- ・卒園式
- ・まなびタイム



■ 長命ヶ丘つくしこども園 (p3～p4)

- ・お店屋さんごっこ
- ・入園式・進級式
- ・体操教室



■ 名取みたぞのこども園 (p5～p6)

- ・そりすべり
- ・戸外・テラス遊び
- ・畑作り



■ 名取あけぼのこども園 (p6～p7)

- ・豆まき誕生会
- ・そら豆のさやむき
- ・サッカー教室



■ 仙萩苑 (p8)

- ・日中活動「ボッチャ」
- ・新人紹介



■ 一寿園 (p10)

- ・パソコン部門の仕事について



住吉台つども園

お別れ遠足



三月六日、長命ヶ丘つくしこども園の年長組と一緒に仙台うみの杜水族館へお別れ遠足に行きました。きりん組の子どもたちはこの日をずっと楽しみにして、「イルカをみたいな」「ちゃんと一緒に食べるんだ」とそれぞれに楽しみにしているようでした。当日、大型バスに乗り込み水族館に向かいました。みんなで大きな水槽を見ると生き物が沢山泳いでいて大興奮の子どもたち。更に、イルカショーやイワシショーを見る事もでき「すごい」と目を輝かせていました。また、館内にある生き物にまつわるクイズに答え、スタンプラリーをしました。「カニの足は何本？」等、一つ一つ友だち



や保育教諭と相談しながら考えました。最後に、カラフルシエルボトル作りに参加しました。様々な色の砂に貝殻やビーズ等を入れて世界にひとつの作品になりました。その後はバスに乗り込み、福室市民センターへ移動し、お弁当を食べました。お家の方へリクエストした子、お楽しみだった子もお弁当を広げると嬉しそうに友だちや保育教諭に見せ合っていました。友だちと食べるお弁当は嬉しく笑顔いっぱいでした。お腹がいっぱいになった後は、みんなでスタンプラリーの答え合わせをしました。ご褒美シールを貼り大満足の様子でした。バスに乗り、こども園に帰る道中では「楽しかったね」と振り返っていました。楽しい思い出ができた遠足になりました。



(保育教諭 渡辺 愛美)

卒園式



三月二十二日に卒園式が行われました。ステージ上には卒園製作のお手紙ボードが飾られました。自分の顔を描いたり折り紙で花の切り絵を作ったり、ボードはとても華やかで子どもたちの表情と同じくキラキラと輝いていました。本番までお別れの長い言葉を友だちと一緒に練習し、園生活での行事を思い出して「懐かしいね」と振り返っていました。子どもたちの一番の思い出は家族と初めて離れて過ごしたお泊り保育でした。寂しい気持ちがありながらも初めての経験をすることができ、翌日の朝にはまた一つ成長した子どもたちの笑顔があふれていました。

子どもたち自身も卒園の言葉で思い出しながら「またやりたい」と話していました。卒園式は保護者の方に自分のお子さんの卒園する姿を近くで見たいという思いから対面式にしました。本番はお家の方が目の前で見てくれたことで成長した姿を見てもらおうと心を込めて大きな声で歌ったり、お別れの言葉を言うことができました。保護者の方からも友だちと協力して歌を歌う姿や最後までやり遂げる姿、立派に成長した姿に感動したと言っても



らい、嬉しく思いました。卒園の歌は子どもたちと一緒に選んだ「6さいのうた」「もうすぐりっぱな一年生」「ずーっとずーっと」「だいたいのしるし」を歌いました。「ずーっとずーっと」は子どもたちが大好きな歌で自由遊び中も自然と口ずさんでいました。歌詞にもあるように思い出を忘れずに大きくなってまた皆で会えたら良いなと思います。卒園児のみんな卒園おめでとう。

(保育教諭 佐々木 愛香)

まなびタイム



五月二十一日に、まなびタイムが行われました。進級してから四回目のまなびタイムとなりましたが、回数を重ねるごとにより一層集中して意欲的に取り組む姿が見られています。「前はタ行を勉強したから、今日はナ行からだよね」等と、前回のまなびタイムで学んだことを、友だちと一緒に振り返る姿が見られました。四月から園の中で一番のお兄さんお姉さんということを目に意識しながら、就学に向けて意欲的に取り組む姿が見られています。自分の考えを皆の前で発表する機会が多く、最初は緊張する子どもたちの姿が見られていましたが、回数を重ねるごとに自信を持って手をあげる姿が見られています。人前で発表する経験だ



けではなく、小学校に向けてお友だちの発表を聞くということも学んでいます。ペーパーワークでは、個人机に向かい一人一人の空間で集中して取り組む姿が見られました。講師の先生の説明をよく聞き、悩んだり考えたりしながら真剣な表情が見られました。「今日のワークは、僕の名前のひらがなだ!」と、自分の名前に入っている文字を見つけ笑顔が見られたり、友だちと一緒にやり取りを楽しんだりする姿も見られました。数と数字の勉強では「これ難しい」と悩む姿もありましたが、最後まで諦めずに取り組み、先生から花丸をもらおうと達成感から笑顔が溢れ、自信に繋がっている姿が見られました。次回のまなびタイムも楽しみに待っている子どもたちです。

(保育教諭 野澤^{のざわ} 佳乃^{かの}子)

長命ヶ丘つくしこども園

お店屋さんごっこ



十二月二十四日、お店屋さんごっこを行いました。三、四、五歳児クラスと二歳児では「どんなお店にしたいか」「どんな商品があったら喜んでもらえるか」など、子どもたちで話し合いを重ねながら準備を進めてきました。クラス毎にベストショップ、ピザ屋、ケーキ屋、たこ焼き屋、アクセサリー屋など、子どもたちの個性が光るお店が並び、お金や財布にも自分たちで模様をつけるなど、細かな工夫も見られました。当日は園長先生のわため屋さんも登場し、買ってすぐに食べられることから子どもたちは大喜び。〇、一歳



児はお買い物を楽しみ、二、五歳児はグループに分かれて、お客さん役とお店屋さん役の両方を体験しました。お客さんが来ると、お店屋さん役の子どもたちは少し緊張しながらも「いらっしゃいませ」「これはいかがですか」と優しく声をかけ、商品を手渡していました。小さいお友だちが嬉しそうにする姿を見て、三、五歳児の子どもたちも誇らしげな表情を浮かべていました。例年は二日間に分けてゆったりと楽しんでいたのが、今年は感染症拡大の心配から一日のみの開催となりました。それでも、自分たちで考え、協力して作り上げたお店を通して異年齢での交流ができた今回の活動は、思いやりや伝える力、友だちと協力する気持ちに気付く、素敵な経験となりました。

(保育教諭 高橋^{たかはし} 睦子^{むつこ})

入園式・進級式



四月三日、十時より、ホールにて入園式を行いました。今年度は、0歳児が六名、一歳児が六名、三歳児が二名の計十四名のお友だちが新しく仲間入りしました。「さんぽ」の曲に合わせて親子で入場してもらいました。緊張した表情の子もいましたが、年長児の出し物や保育教諭の手遊びを一緒に見ながら楽しんで笑顔を見せてくれたりする姿がありました。担任からの呼名では、保護者の方にたかいたかいをしてもらい、可愛いお顔が見えるようにしてもらおうと、参加していた在園児からも「かわいいね」という声が聞こえてきました。0歳児の子は途中で疲れて眠ってしまう子もいましたが、みんな終始泣くこともなく参加してい



ました。同日十五時より進級式を行いました。それぞれのクラスの担任から呼名をされるとみんな元気に返事をしていました。最後の職員の紹介では普段あまり聞かない先生たちの好きな食べ物も一緒に教えてもらい楽しく進級式を終えることができました。これから一年間、元気に一人一人の成長を喜びながら楽しく過ごしていきたいと思っています。
(保育教諭 加藤 さゆり)

体操教室



五月二十日にカワイ体操教室の講師による三歳、四歳、五歳児の体操教室に参加しました。ホールに移動する前に、保育室内にて体操教室の参加の仕方子どもたちと一緒に確認し、その後ホールで三歳児から順番に始めました。整列し先生と挨拶をすると、元気な声の挨拶に「元気いっぱいだね」と褒められ嬉しそうにする姿が見られました。その後準備体操を行い、屈伸やアキレス腱を伸ばす動きを先生のお手本を見ながら見よう見まねで足を延ばして頑張る子どもたちでした。準備体操が終わると縄跳びを跳び越えたりジャンプをしながらマットの周りを走ると、友だちと並走しながら笑顔を見せる姿が見られました。三歳、四歳、五歳児共通でこの日は、マット、フラフープ、鉄棒を順番に回る運動遊びをすると、マットでは横向きで転がったり、前回りなどをしたり、フラフープでは両脚ジャンプ、ケンケンパをしたり、鉄棒ではぶら下がり、つばめ、前回りなど年齢によって難易度を上げながら行う姿が見られました。自分の力でぶら下がり「手が痛い」と言いなが

らも楽しそうに体を動かす姿が見られました。自分ができない技にも挑戦したり、いつもより高い鉄棒に大喜びの子どもたちでした。今後も楽しく体を動かしながら様々な運動や遊びを行い、少し難しいことにも積極的に挑戦できるようにしていきたいと思っています。
(保育教諭 市川 真悠)



名取みだのこども園

そりすべり



二月二十三日に、昨年度の五歳児クラスのらいおん組でえぼしスキー場へ、そりすべりに行ってきました。行く前からスキーウェアの着方の練習をしたり、そのの滑り方の写真を見ながら学んだりして、そりすべり当日を心待ちにしていました。ついに当日。「先生、おはよう」と期待に満ち溢れた子どもたちが登園してきました。大型バスに乗り込み、いよいよ出発。スキー場への道のりも「楽しみだね」「雪遊びもしたいね」と盛り上がっていました。えぼしスキー場に到着すると、辺り一面真っ白の雪に大興奮の子どもたち。一生懸命練習したスキーウェアに自分たちで着替え、準備万端でそりす



(保育教諭 星 琳佳)

べりの場所まで歩いていきました。一人ずつ保育教諭にそりを押してもらい、勢いよく滑っていく子どもたちには、笑顔が見られ「楽しい」「もっと早くしてもいいよ」と何度も滑る事を楽しむ姿が見られました。昼食にはカレーと豚汁を食べ、友だちや保育教諭といつもとは違う場所で食べる事に特別感を感じていた子どもたちもいました。昼食後は雪遊びも楽しみ、帰りのバスはほとんどの子が疲れて眠ってしまいました。そんな子どもたちは、今年の春にこども園を卒園し、四月から小学一年生になりました。子ども園での楽しかった思い出を忘れずに、小学校でも沢山の経験を通して、成長していったほしいと願っています。

戸外・テラス遊び



暖かく穏やかな気候で過ごしやすい日が増えてきました。その中、一歳児クラスのりす組では園庭やテラスに出て元気いっぱい遊んでいます。テラスでは、外の空気や風の心地良さを感じながら過ごしており、ゴザの上で寝転んだり、友だちと一緒に大型積み木を運んだりする姿が見られました。また、テラスから見える電車や走っている車にも興味津々な様子で「でんしゃきた」「ブーブーいた」等、嬉しそうに教えてくれる姿も増え、成長を感じました。戸外遊びでは、園庭を元気に走ったり、砂や石をスコップですくい自分の足や手にかけて感触を楽しんだり等、元気いっぱい遊ぶ子どもたち。タンポポやダンゴムシなどの自然にも興味を持ち、じっと見つめて観察したり、花の匂いをかいでみたり、五感を使って遊びを楽しんでいました。遊びの中で見つけた花などを持って来て「はいどうぞ」と友だちに手渡す姿や玩具の貸し借りをする際に「貸して」「待っていてね」等、言葉でやり取りをする姿が見られました。また、異年齢の友だちと一緒に砂場で遊ぶ姿や、遊びを真似



る姿も見られます。少しずつ周囲に興味や関心を持ち始めている為、これらの活動でも異年齢児交流を行い、友だちとの関わりを楽しめるようにしていきたいと思っています。今後も、季節を感じられる遊びを取り入れたり、興味や発見を共感したり、子どもが伸び伸びと元気に過ごせる環境づくりをしていきます。(保育教諭 吉田 野々花)

畑作り



五月二十日、四・五歳児クラスと二十五日の三歳児クラスの二日間に分けて、茄子二種類、トマト、ジャガイモ、ズッキーニの苗を植えました。植える苗を見せて「この野菜はなにかな？」と子どもたちに問いかけると「わかった！茄子だよ」「トマトもある」と思い思いに野菜の名前を答えてくれます。「ズッキーニって何？」と質問するお友だちに「きゅうりみたいな野菜だよ」と教えてあげる姿も見られました。茄子が二種類あったことで、「こっちとこっち、色違うね」「茄子の色が違うから葉っぱも違うのかな」と苗をじっくりと観察して、苗の違いに気付く子どもたち。苗を植える穴へ、苗を移し替える時には「優しくしないと、折れちゃいそう」「ドキドキするね」と話しながらゆっくりと慎重に扱う姿も見られました。上手に移し替えることができるかと、見ていたお友だちからも拍手をしたり、「上手だね」と声を掛けてもらったりして、褒められた子も満足気な様子でした。初めて大きな畑で野菜を育てていく三歳児クラスのお友だちは「早くやりたい」「つぎに

やりたい」と大喜びでした。穴を掘り、苗を入れて植え終わると、最後にみんなで「大きなあれ」と野菜におまじないを掛けました。今は少しずつ生長していく野菜の様子を毎日水やり等の世話をしながら観察しています。立派な野菜が育ち、みんなで食べられる日がとても待ち遠しいです。

(保育教諭 三浦 美紀)



名取あけぼのこども園

豆まき誕生会



二月三日に豆まき誕生会が行われました。二月生まれのお友だちにステージに出てきてもらい、子どもたちに好きな食べ物等をインタビューすると、元気に話す姿があり、ホールからは大きな拍手が聞こえてきました。その後は、各クラスの節分の制作を紹介しました。保育教諭が「制作で頑張ったところはどこですか？」と質問すると、誕生児のお友だちは「花紙をくしゃくしゃしたところ」「ハサミで鬼の角や目や口を作ったところ」等を教えてくれました。誕生会の最後には節分クイ

ズを行い、正解すると「やったー」と笑顔で喜ぶ姿も見られました。その後、三歳未満児は一歳児のお部屋で鬼のイラスト等にカラーボールを当てたり、ボール入れにボールを入れたりして楽しみました。三歳以上児はホールで赤、青チームの二チームに分かれ、鬼役の保育教諭の背負うカゴに玉入れをしました。チームで協力して新聞紙のボールを沢山拾ってカゴの中に入れて楽しみました。結果は赤チームの勝利でしたが、最後にお片付け対決を行い、お片付け対決では青チームが勝ちました。両チームとも勝つ事ができて大喜ぶ姿があり、とても楽しい豆まき誕生会となりました。

(保育教諭 齊藤 莉衣)



ふゆのちやむき



五月十二日に今年度初めての食育活動がありました。はじめに三・四・五歳児クラスが保育室に集まって、そら豆くんのベッドの大型絵本を見たり手洗いのやり方を教えてもらったりしました。その後実際に手洗いをする「次はバイクのポーズだね」など子ども同士で確認しながら丁寧にいうことができていました。手洗後はホールに集まり、一・二歳児も一緒にそら豆のさやむきに挑戦しました。一・二歳児はそら豆に初めて触れる子も多く、



不思議そうに見たりそっと触ってみたいする姿が見られました。三・四・五歳児はさやの硬さに苦戦する子もいましたが、力いっぱい押してみるとプチッと音が鳴り、さやがむけると大喜びでした。さやの内側の柔らかさや冷たさを感じたり、においを嗅いでみたりと、五感で楽しむ食育となりました。みんなでむいたそら豆は五歳児のリクエストでそら豆グラタンとなり、午後のおやつで提供されました。自分でむいたことでより美味しく食べる姿が見られました。
(保育教諭 森合 春奈)

サッカー教室



五月二十二日、ホールで四歳児のサッカー教室がありました。初めてのサッカー教室に、期待で胸がいっぱいの子どもたちで「サッカー教室って何するんだろうね」「サッカーのゲームするのかな?」など想像を膨らませていました。サッカーのユニフォームを一人一人渡されると、嬉しくて気持ちが高まっている様子でした。ボールを転がして足でブレイキを掛けたり、ボールを投げてキャッチしたりボールに触れることでボールの感覚を少しずつつかむことができました。ボールを蹴ってゴールに入れたらお宝がもらえるゲームや、二チームに分かれてどっちが多くゴールにボールを残せるかのゲームをし、チームごとに「頑張るぞ、エイエイオー!」と団結して取り組んでいました。勝ったチームはみんな大喜び合って、負けたチームは悔しくて落ち込む姿もありましたが、友だちや先生から励ましてもらったことで気持ち切り替えることができ、心の成長が見られました。

(保育教諭 畠山 美幸)



仙萩苑

日中活動「ボッチャ」

今年度の日中活動は、ボッチャや作品作り、カラオケ等行う予定です。ボッチャは初めて行うものなので、分からない事だらけであり、少しずつ進めていこうと思っています。計画通りに行えない事もあるのかもしれませんが、職員、利用者共に楽しみながらできれば良いと思っています。

(看護師 菅原^{すがわら}美樹^{みき})



インドネシアから来た2人の

新

人

紹

介

生活支援員 プリハティニ (25歳)

私はランブンという所の出身で、家族は7人です。私、母、兄、そして姉が4人います。私たちは農家の出身で、イスラム教です。毎日5回お祈りします。豚肉を食べませんし、アルコールとお酒も飲みません。ナシゴレンとスープのある麺が好きです。チョコレートとアイスクリームも大好きです。趣味は映画を観ることと旅行です。新しい場所に行くのが好きです。特に山や海、公園などの自然が好きです。以前、大学を卒業した後、インドネシア政府の統計機関「バタンブサットスタティスティック」でデータ入力の仕事をしました。その後、6ヶ月くらいミライ学校で日本語を勉強しました。大学の時、家庭教師のアルバイトをしながら、よく老人ホームでボランティアに参加していました。そこで、食事の介助、更衣介助をしました。その時、利用者と遊びました。その経験から、人を助ける事の大切さと他の人も助けたいと思ったので介護士として働きたいです。日本を選んだ理由は発展している国で、ルールや制度がしっかりしていると思ったからです。それに介護の技術も進んでいて、人を大切にすることでも知られています。なので、日本で働いて知識とスキルのある介護士になりたいです。将来、プロの介護職員になりたいです。介護福祉のプログラムにも参加したいと思っています。もしできれば日本で働き続けたいと思っています。あるいは、インドネシアに帰ったら、日本で学んだ知識や経験を伝えたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



生活支援員 フィトリアラマダニ (26歳)

家族は4人で、母と兄と私と弟です。以前ここで働く前に私はインドネシアで5年間働いていました。私はインドネシアにある大学で社会人クラスに通いながら働いていました。その為、その間は自分で学費を払っていました。趣味は旅行や登山やキャンプです。私は自然の美しさが大好きです。だからこの地域に住んで働くことができるととても嬉しいです。毎日きれいな山を見ることができるからです。私は抹茶が好きで日本の本場の抹茶にとっても興味があります。食べ物は特に好き嫌いはありません。食べられるものであれば大丈夫ですが、豚肉やアルコールが入っていないものを食べています。口に合えば何でも食べます。私は東野圭吾の小説を読むのが好きです。インドネシアでは東野圭吾の小説が12冊インドネシア語に翻訳されていて私は全て読みました。将来日本語が上達したら、インドネシア語に翻訳されていない作品も読んでみたいと思っています。仙台で行われるお祭りも是非見てみたいです。とても楽しみです。



決 算 報 告

令和 7 年度一寿会決算を下記の通り報告致します。

令 和 7 年 度 財 産 目 録

(単位：円)

資 産 の 部			負 債 の 部		
項 目	金 額	摘 要	項 目	金 額	摘 要
流 動 資 産	457,202,406		流 動 負 債	81,765,407	
基 本 財 産	662,626,802		固 定 負 債	160,971,365	
その他の固定資産	832,828,402				
資産の部合計-①	1,952,657,610		負債の部合計-②	242,736,772	
差引正味財産 (①－②)			1,709,920,838		

令 和 7 年 度 貸 借 対 照 表

(単位：円)

資 産 の 部			負 債 の 部		
項 目	金 額	摘 要	項 目	金 額	摘 要
流 動 資 産	457,202,406	預金・未収金他	流 動 負 債	81,765,407	未払金・預り金他
固 定 資 産	1,495,455,204	建物・土地・権利他	固 定 負 債	160,971,365	設備資金借入金他
			負債の部合計	242,736,772	
			純 財 産 の 部		
			基 本 金	121,529,321	
			国庫補助金等特別積立金	450,148,672	
			その他の積立金	564,000,000	
			次期繰越活動収支差額	574,242,845	
			純財産の部合計	1,709,920,838	
資産の部合計	1,952,657,610		負債・純財産合計	1,952,657,610	

令 和 7 年 度 収 支 計 算 書

(単位：円)

支 出 の 部			収 入 の 部		
項 目	金 額	摘 要	項 目	金 額	摘 要
就労支援事業支出	5,341,500		就労支援事業収入	2,697,419	
人 件 費 支 出	704,059,971	給与・社会保険料他	保 育 事 業 収 入	762,117,156	
事 業 費 支 出	142,222,255	給食費・消耗品費他	障害福祉サービス等事業収入	275,148,835	
事 務 費 支 出	155,942,190	業務委託費・修繕費他	医 療 事 業 収 入	89,729,617	
借入金利息支出	1,155,201	設備資金借入分	受取利息配当金収入	287,795	
元 利 償 還 金	7,402,000	設備資金借入金償還	そ の 他 の 収 入	698,270	雑収入等
固定資産取得費	75,943,904	空調設備等	施設整備費補助金収入	10,000,000	
ファイナンスリース債務の返済支出	2,419,780		設備資金借入金収入	57,750,000	
積立資産支出	41,400,261	各種積立金	積立資産取崩収入	6,782,881	退職共済預け金返還金
その他活動支出	222,110		その他の活動収入	245,847	
支出の部小計	1,136,109,172				
当 期 繰 越 金	69,348,648				
支出の部合計	1,205,457,820		収入の部合計	1,205,457,820	



一 寿 園



パソコン部門の仕事について

パソコン部門の利用者は現在8名。最近、パソコンを使用してできる作業が限られてきました。と言うのも、令和3年からお世話になってきたレシート入力作業が、採算が取れない等の理由で3月に契約が終了してしまい、代替案件で類似のデータ入力業務を紹介してもらいましたが、覚えるマニュアルが多く、なかなか難しいので休止中という状況だからです。

レシート入力作業の他に、名刺目検作業というのも行っていますが、品質基準に基づき精査されていて、平均誤補正率が0.17%を上回る場合、登録解除の対象になってしまいます。0.17%とは、10000件中17件間違えてしまうと危ういということです。利用者の皆さん、これには悩まされていて、ちょっとプレッシャーを感じていました。1月に最初の指摘があり、ミスは減っていきましたが、0.17%の壁は高く、数名の利用者は5月に仕事を離れることになってしまいました。私の指導不足も含め、反省しております。改めて「仕事って大変なもの、正確にやらないと仕事ができなくなってしまう」と胸に刻まれました。社会の厳しさを知る良い機会となりました。



さて、新たな仕事は募集しているものから作業可能と思われるものを探して申し込んでいます。パソコンを使用しない作業も見つけ「切手台紙貼り作業」というものに申し込みました。これは、未使用の切手を専用台紙に糊で貼り付けていく作業です。トライアルを1ヶ月程体験し、利用者もやってみたいとのことだったので、契約する運びとなりました。

「日本財団+宮城県 補助事業のIT関連業務受注促進プロジェクト」というものにも申し込みました。このプロジェクトは、IT関連業務は高単価の案件が多い中「難易度が高い」「設備が不足している」等の状況の事業所に向けてITスキルの向上と事業所へのPCの無償貸与を行ってくれるという内容でした。（まさに我々が求めているものではありませんか！）ですが、こちら抽選なのでどうなのかな、とドキドキでしたが、無事貸与が決定いたしました。有り難いことに2台です。eラーニング教材導入済みのPCなので、これから習得を頑張ってもらいたいと思います。

利用者さんの工賃向上を目指し、これからも新たな事に挑戦し、頑張っていきたいと思います。

（職業指導員 わたなべ としこ 渡辺 寿子）



編集後記

梅雨を代表する花と言えば紫陽花ですね。今年も雨に濡れた色とりどりの紫陽花が美しい季節になりました。紫陽花の色は青や紫が主流ですが、土壌の性質で色が決まるそうです。酸性だと青系、アルカリ性だと赤系、中間だと紫系になるそうです。もし、自宅の紫陽花の色を変えたい時は、青系にしたいならミョウバン、赤系にしたいなら石灰を土に混ぜるといいと言われています。ただ日本の場合は酸性雨が降るので、どうしても酸性に偏ってしまうようです。最近、白い紫陽花を街なかや庭先で見かけるようになりました。白い紫陽花は土の酸度に左右されず、真っ白な花を咲かせます。代表的な「アナベル」はモコモコしていて可愛いです。7月下旬頃まで咲いているので、見て和んでみてはいかがでしょうか。